

試料・情報利用研究計画書(概要)

研究番号	2026-1005	利用形態	共同研究	
研究題目	新たな手法で分類されたHLA型とアレルギーの相関に関する研究(Ⅱ)		研究期間 (yy/mm/dd)	2026/4/1 ~ 2028/3/31
主たる研究機関	埼玉医科大学		責任者 氏名・職	松下 祥 ・ 教授
分担研究機関	東北大学 東北メディカル・メガバンク機構		責任者 氏名・職	木下 賢吾 ・ 教授
研究目的と意義	<p>本研究の目的は、アレルギー疾患患者を対象に、従来とは異なる新しい分類法によるHLA-DQ型($\alpha 2 \cdot \beta 2$ドメインのアミノ酸配列)とアレルギーとの関連を明らかにすることである。具体的には、HLA分子の細胞内ドメイン配列に基づく新たなHLA型分類と、アレルギー疾患との相関を解析することを目指す。</p> <p>HLAはこれまで主に抗原結合部位($\alpha 1 \cdot \beta 1$ドメイン)の多型に基づいて分類されてきたが、本研究は抗原結合に直接関与しない$\alpha 2 \cdot \beta 2$ドメインの多型に着目する点に新規性がある。これにより、HLA-DQが免疫応答やTh1/Th2バランスに及ぼす影響を、従来とは異なる分子基盤から理解する手がかりを提供する。</p> <p>アレルギー疾患における新たなHLA型と免疫応答の関連が明らかになれば、アレルギーの病態理解の深化につながり、将来的には患者層別化や個別化医療への応用が期待される。</p>			
研究計画概要	<p>本研究は、アレルギー疾患患者を対象として、新たな手法で分類したHLA-DQ型($\alpha 2 \cdot \beta 2$ドメインのアミノ酸配列)とI型アレルギーとの関連を明らかにすることを目的とした観察研究である。まず、埼玉医科大学病院に通院するアレルギー疾患患者約100名を対象に、血清IgE値およびHLA-DQB1型を解析し、細胞内ドメイン配列に基づく新規HLA型とアレルギーとの相関を検証する。</p> <p>さらに、初期解析において仮説を支持する結果が得られた場合には、東北大学 東北メディカル・メガバンク機構との共同研究として、地域住民・三世代コホート約69,000人の既存ゲノム・検体検査データを用いた大規模解析へと展開する。この拡張解析では、東北メディカル・メガバンク機構のコホート調査で収集された血清IgE値とHLA-DQB1型の相関を用いて、I型アレルギーと特定の細胞内ドメイン配列との関連を検証する。</p>			
利用試料・情報	<p>対象: <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民コホート調査 <input checked="" type="checkbox"/> 三世代コホート調査 <input type="checkbox"/> 脳とこころの健康調査 <input type="checkbox"/> その他 ()</p> <p>調査期間: <input checked="" type="checkbox"/> ベースライン調査期間 <input type="checkbox"/> 第2段階調査期間 <input type="checkbox"/> 第3段階調査期間 <input type="checkbox"/> 第4段階調査期間 <input type="checkbox"/> 新しく試料・情報を収集する</p> <p>試料: 最大()人分 <input type="checkbox"/> DNA <input type="checkbox"/> 血漿 <input type="checkbox"/> 血清 <input type="checkbox"/> 尿 <input type="checkbox"/> 母乳 <input type="checkbox"/> 単核球 <input type="checkbox"/> EBV不死化細胞 <input type="checkbox"/> 増殖T細胞 <input type="checkbox"/> その他の試 ()</p> <p>情報: 最大(69,000)人分 <input checked="" type="checkbox"/> 基本情報 <input type="checkbox"/> 調査票情報 <input type="checkbox"/> 家系情報 <input checked="" type="checkbox"/> 検体検査情報 <input type="checkbox"/> 特定健康診査情報 <input type="checkbox"/> 生理機能検査情報 <input type="checkbox"/> がん登録情報 <input type="checkbox"/> メタボローム解析情報 <input type="checkbox"/> マイクロバイオーム情報 <input type="checkbox"/> 認知・心理検査情報 <input type="checkbox"/> MRI画像解析情報 <input type="checkbox"/> MRI画像情報 <input checked="" type="checkbox"/> 全ゲノム解析情報(全て) <input type="checkbox"/> 全ゲノム解析情報(特定領域) <input checked="" type="checkbox"/> SNPアレイ情報(全て) <input type="checkbox"/> SNPアレイ情報(特定領域) <input type="checkbox"/> その他の情報 ()</p> <p><input type="checkbox"/> 岩手の試料・情報を使用する</p>			
期待される成果	アレルギー疾患における新たなHLA型と免疫応答の関連が明らかになれば、アレルギーの病態理解の深化につながり、将来的には患者層別化や個別化医療への応用が期待される。			
倫理審査等の経過	2026/3/2 埼玉医科大学病院 病院IRB委員会 承認			
倫理面、セキュリティ面の配慮	東北メディカル・メガバンク機構が保有するデータは、東北メディカル・メガバンク機構のスーパーコンピュータ内で解析する。解析が終了したのち、統計データのみを持ち出し申請・承認を経て外部に持ち出す運用とする。			
その他特記事項				
(事務局使用欄)	<p>* 公開日 令和8年6月12日</p> <p>* 東北メディカル・メガバンク計画に協力された方で、本研究に関するご質問等がある方、本研究に限り試料・情報の利用を希望されない方は、下記までご連絡下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>岩手医科大学いわて東北メディカル・メガバンク機構 019-651-5110(5508/5509)</p>			